



9月テーマ「基本的教育と識字率向上月間」(社会奉仕委員会担当)

■会長挨拶 小松 賢三君

9月15日にオンラインで諏訪グループ会長・幹事会が開催されました。その中で10月24日の世界ポリオデーに合わせて前日の23日(日)にチャリティーゴルフコンペと新聞2紙にポリオ根絶の啓発広告を掲載することが決定しました。コロナ過で2年中止となっていました。諏訪湖カントリークラブで開催されます。プレー代は各自負担、参加費は3,000円となります。急ではありますが10月4日の例会で参加メ切とさせていただきます。また啓発広告はクラブ名だけ記載されます。企業名は掲載されませんが1社2,000円での協賛もお願いいたします。小笠原弘三君がガバナー補佐をされていた時に始められたことですので大勢の方の参加をお願いします。また次回例会よりポリオ根絶のチャリティーボックスを回します。ご協力をお願いいたします。さて年度が替わり3ヶ月ほどがバタバタと経過しましたが、やっと30周年実行委員会の活動が始まります。「創立時の想いを10年後に伝えよう」このテーマに向けて全員で取り組んでいきたいと思っております。各部会には全員が重複して所属しています。それは自分の分担はこれだけと決めないでいろんなところに参加して欲しいからです。また30周年の活動の場は懇親の場でもあります。存分に楽しんでいただきたいと思います。



■お客様 諏訪圏域子ども応援プラットフォーム 事務局長 木村 かほり様

■理事会報告・幹事報告 数納 孝君

- 本日は、臨時年次総会を開催いたします。
- 例会終了後 30周年記念事業実行委員会記念式典部会を行います。
- 本日の例会は、諏訪圏域子ども応援プラットフォーム 木村かほり様「子ども食堂と補助金事業について」
- 9月15日(金)第4回諏訪グループ会長幹事会がオンラインにて行われました。
- 10月23日(日)諏訪グループポリオ事業として、諏訪湖カントリークラブに於いてチャリティーゴルフコンペが開催されます。AM7:45 開会式 プレー代 16,260円 参加費 3,000円となります。参加者の方は受付の名簿に記入をお願いします。なお、本日お休みの方で参加ご希望の方は事務局までご連絡をお願いします。
- 9月19日(月)カーブミラー清掃、ゴミ拾いに参加しました。
- 10月例会プログラム・行事予定(社会奉仕委員会)
 - 10月02日(日) 次年度会長・幹事研修セミナー(Zoom開催)
 - 10月04日(火) 通常例会 諏訪湖クリーンプロジェクト様へ支援金贈呈、活動報告 例会終了後理事役員会
 - 10月11日(火) 指定休日
 - 10月18日(火) 通常例会 ボーイスカウト・ガールスカウト助成金贈呈式、活動報告
 - 10月25日(火) 通常例会 30周年記念事業実行委員会
- 11月例会プログラム・行事予定(国際奉仕委員会)11月01日(火) 通常例会
 - 11月05日(土)・6日(日) 地区大会 戸倉上山田温泉
 - 11月08日(火) 指定休日
 - 11月15日(火) 通常例会
 - 11月22日(火) 通常例会 米山奨学生卓話(指定休日から変更です)
 - 11月29日(火) 指定休日

■クラブ細則5条にて、臨時総会を開催(議長を小松会長にて)

10月2日に次年度会長・幹事の研修セミナーが開催にて、例年より早めて次年度の会長予定者 藤森和彦君と、幹事予定者 五十嵐幹夫君 両名の指名を計り全開一致で承認される(クラブ細則5条にて、会員総数の1/3を持って定足数を満たしている)

■ 出席報告・ニコニコBOX 出席 19 名 (63.0%) ニコニコ BOX11 名より 15,000 円

■ 例会プログラム 諏訪圏域子ども応援プラットフォーム 事務局長 木村 かほり様

『諏訪圏域子ども応援プラットフォームグループ』代表運営委員が石垣正志さんで、事務局長が木村かほりさんです。木村かほりさんから『子ども食堂と補助金制度について』の説明を戴く

◎概要説明(補足)

少子高齢化に伴い、子どもの置かれた状況は大きく様変わりし、核家族化、経済格差、学力格差など、様々な要因が子どもの健全な育ちを歪めています。長野県は県内 10 圏域ごとに、地域の力を結集して『信州子どもカフェ推進地域プラットフォーム』を立ち上げるように要請し、この呼びかけに応え『諏訪圏域子ども応援プラットフォーム』を立ち上げた。

県は、2016 年度に立上げ準備し、2017 年～2018 年度の2年間は県が助成しましたが、以降は県の補正予算、クラウドファンディング、企業の協賛を受けて運営を助成する。

2019 年に『諏訪圏域子ども応援プラットフォーム』のカタログ作成活動し、2020 年に『諏訪圏域子ども応援プラットフォームグループ』14 名＋一般 5 名＋県 1 名で作成した。

- (1) 誰も取りこぼさない社会と、こどもカフェ、子ども食堂、子どもの居場所、情報交換
- (2) 配布のカタログには、このプラットフォームに登録した諏訪圏域の子ども支援・子育て支援団体・個人、関係する行政機関・中間支援団体、様々な形で協力・援助して下さっている企業・個人が網羅されていますので、このカタログそのものが諏訪圏域子ども応援プラットフォームです。このカタログを手にしたあなたが、必要に応じて掲載されている団体・企業・役所・個人に連絡をとることで何かが始まります。その新たな出会いが、諏訪圏域の全ての子どもの豊かな未来への『はじめの一步』となる様に活動していきます。
- (3) ついては、先ずは どんな居場所や子ども食堂があり、どんな活動をしているか見て知って、参加してみませんか。一緒に考えてみて頂けませんか
- (4) 子ども食堂・子どもの居場所の活動応援をしてみませんか
- (5) 食材や物資の提供の仕組みづくりを思索
 - ・ 諏訪圏域プラットフォームを核に、協賛団体や企業に食材や物資の提供システム
- (6) 子ども応援のプラットフォームの活動ネットワーク概要を説明

◎【現状概要説明】各種カタログ及びリーフレット配布

1. 諏訪圏域の子ども食堂・居場所はカタログ上 46 箇所(県に聞くと、68 箇所)
2. 子ども食堂は全国で、2016 年に 319 箇所が 2021 年には 6014 箇所に、約 18 倍(全国の小学校/約 2 万校、中学校/約 1 万校、児童館/約 4 千校)
3. 子ども食堂の仔細概要
 - ・ 子どもが一人で行ける無料または定額の食堂
 - ・ 遊び、学び、体験などが出来る子どもの居場所
 - ・ 民間初(?)の自主的・自発的な取組み※運営を支援する公的な制度は整備されて無いが、コロナ禍等要因で増加している
 - ・ 子ども食堂認知は8割を超えているが、実際に行った子供は1割に満たない
4. 諏訪圏域の子ども概要(2019 年資料)
 - ・ 人口約 19 万余人
 - ・ 世帯数 13 万余世帯(→子どもという世帯 約 2.9 万世帯)
 - ・ 困窮する子ども 約 4,796 人 日本の子どもの現状/約 7 人に 1 人が困窮)
 - ・ ひとり親世帯 約 1,337 世帯
 - ・ 不登校の子ども 約 3,500 人
5. 地域の未来のためと子どもたちのために、参加・連携要請で締める

